

令和3年度 工芸科

教科	芸術	科目	工芸Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・素材の特徴と適切な用具の扱いを学び、丁寧な制作をしよう
- ・これまで学んだことを生かし、日常を豊かにする個性的な作品を制作しよう

2 学習の到達目標

- ・資料を収集させ、アイデアスケッチに時間をかける。
- ・一つ一つの工程を確認しながら、確実に作業を行わせる。
- ・制作レポート、鑑賞レポートを充実させる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:工芸への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	工芸の創造活動の喜びを 味わい、工芸や工芸の伝 統と文化に関心をもち、 主体的に表現や鑑賞の創 造活動に取り組もうとす る。	感性や想像力を働かせ て、心豊かな発想をし、 よさや美しさなどを考え 制作の構成を練ってい る。	創造的な工芸の制作をす るために必要な技能を身 に付け、表現方法を工夫 している。	工芸や工芸の伝統と文 化を幅広く理解し、その よさや美しさを創造的 に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	土 鍋 セ ット	【陶芸】						
		・条件に合ったデザインを考 える。	○	○	○		a:手順、材料の使用方法的な確 認ができている。	用具、材料の 適切な使用
		・ひも作りで成形する。	○		○		b:技法を理解し立体で表現で きている。	アイデアスケ ッチ
		・本体と蓋の合わせ方や持ち 手を、デザインに応じて考 え成形する。	○	○	○		c:用途を考え、工夫している。 b:作品全体に彫り文様を施し ている。	制作の様子
		・鬼板掻き落しで文様を施 す。	○	○	○	○	c:デザインを考えセットにな る器を考えられている。	制作途中の作 品
		・土鍋とセットになる器を制 作する。	○	○	○	○	c:釉薬の厚さを工夫してい る。	
		・乾燥、素焼き後、釉薬をつ け本焼きする。			○		d:完成作品を客観的に観察し 正しい文章で表現できる。	制作レポート 完成作品
		・制作レポートを丁寧に書 く。	○			○		

	高校展レポート	【鑑賞】 ・高校展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート
2学期	ステンドグラス平面の制作	【ステンドグラス】 ・条件に合ったデザインを考える。 ・原寸大の型紙を描く。 ・材料用具を安全に使用し、ガラスカット、ルーターかけ、銅テープ巻き、半田つけ、仕上げ等の各工程を丁寧にを行う。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができている。 b:技法を理解し表現できている。 c:ガラスの特性を理解し丁寧に作業している。 d:完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	アイデアスケッチ 材料使用方法的確認 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート
3学期	フェルトポーチ	【繊維】 ・条件に合ったデザインを考える。 ・型を作り、フェルト原毛を繊維の向きを交差させながら巻き重ねる。 ・お湯と圧力でフェルト化させる。 ・乾燥後、ファスナー等を縫いつけて完成させる。 ・制作レポートを丁寧に書く。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができている。 c:技法を理解し丁寧に作業している。 b:用途に合った大きさ、形と、原毛の配色、組み合わせ方を考えている。 c:裁縫が丁寧にできている。 d:完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	用具、材料の適切な使用 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート
	3年校内展レポート	【鑑賞】 ・3年校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート

※ 表中の観点について a:工芸への関心・意欲・態度

b:発想や構想の能力

c:創造的な技能

d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。